

令和7年度
事業計画書

社会福祉法人 豊中ほづみ福社会

I 法人本部

1. 所在地

大阪府豊中市服部元町2丁目7番2号

2. 法人事業の経営理念

豊中ほづみ福祉会は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的としています。

3. 経営方針

(1) 経営基盤の強化

社会福祉事業や公益的な事業への自主的な取組について、責任を持って実施できる管理経営体制を構築する。

(2) 福祉サービスの質の向上

職員が専門的知識や技術を修得できるように法人内・外部での研修等を推進する。

(3) 事業経営の透明性の確保

法人内で実施されているサービス内容や経営内容などの情報についての透明性の確保に努める。

4. 実施事業

(1) 第二種社会福祉事業

① 保育所の経営

- ・ 幼保連携型認定こども園 豊中ほづみ保育園（定員 89名）

所在地 大阪府豊中市服部元町2丁目7番2号

- ・ 保育所 ほづみバブー保育園（定員45名）

所在地 大阪府豊中市服部西町3丁目6番5号豊島小学校内

- 小規模保育事業A型 ほづみ絵本の森保育園（定員19名）

所在地 大阪府豊中市服部元町2丁目4番19号

- 保育所 マーブル保育園（定員60名）

所在地 大阪府豊中市服部元町2丁目9番1号

② 一時預かり事業の経営

- ・ 幼保連携型認定こども園 豊中ほづみ保育園

- 保育所 マーブル保育園

③ 病児保育事業

- 幼保連携型認定こども園 豊中ほづみ保育園

- 保育所 ほづみバブー保育園

- 小規模保育事業A型 ほづみ絵本の森保育園

- 保育所 マーブル保育園

④ 地域子育て支援事業の経営

5. 理事会・評議委員会の開催

(1) 第1回理事会(5月)

- ① 前年度事業報告及び決算報告の審議、
理事候補の推薦、評議員候補の推薦、定時評議委員会の招集について、その他

(2) 評議員選任解任委員会(5月)

- ① 評議員の選任

(3) 定時評議委員会(5月)

- ① 決算報告の承認、理事候補の選任、その他

(3) 第2回理事会(5月)

- ① 理事長の選任

(6) 第3回理事会(12月)

- ① 補正予算審議

(7) 第4回理事会(3月)

- ① 次年度事業計画及び当初予算の審議、その他

(8) 臨時理事会(随時)

- ① 審議の必要に応じ随時開催

(9) 臨時評議員会(随時)

- ① 審議の必要に応じ随時開催

6. 構成

(1) 理事 6名(理事長含む)

(2) 監事 2名

(3) 評議員 7名

(4) 外部委員 1名

7. 中・長期計画

(1) 地域の社会福祉ニーズに対応した事業実施

- ① 新規地域子育て支援事業の実施
- ② 障がい児通所支援事業の計画
- ③ 療育施設 新設計画

(2) 適正な経営及び財務と透明性の確保

(3) 保育の質の向上と透明性の確保

- ① 第三者評価受審

認定こども園 豊中ほづみ保育園(2020年、2023年)

ほづみバブー保育園(2015年、2019年、2022年)

ほづみ絵本の森保育園(2018年、2022年)

(4) 組織の活性化

- ① 職務や個々に応じた研修計画の策定

Ⅱ 認定こども園 豊中ほづみ保育園

1. [保育理念]

自分らしさを発揮しながら 豊かな創造性や感性をもち
やろうとする力や向かう気持ち あきらめずに達成する力が強く 人とつながる喜びを知る人になる

[保育方針]

そのままの姿を受けとめよう
たくさん抱きしめよう
たくさん失敗ができる場所にしよう
「ホンモノ性 (学びの対象・人としてのあり方)」を大切にしよう
すべての人の違いは豊かさであり 同じ価値の存在として認めよう
一人ひとりの個性を尊重しよう

[まわりの大人が大切にしたいこと]

子どもを中心として それを取り巻く大人たちが 支えや学びの共同体になろう
子どもを生まれた時から 幅広い分野で発達する 生きた人間として見よう
子どもたちに人生の魅力を語ろう
子どもの成長や発達を喜び合い 協力し合いながら成長しよう
大人も子どもも 豊かな安全基地をもち 愛着を安定させよう

3. 令和7年度の重点項目

- (1) 特別保育事業の積極実施、内容の充実
- (2) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づいた教育・保育の展開
- (3) 苦情解決処理への積極的な取組み
- (4) 地域交流事業の推進

4. 特別保育事業

- (1) 延長保育事業
- (2) 一時預かり事業

5. 地域交流事業

- (1) 世代間交流事業
 - ① 地域の高齢者や小学生との交流 (年1回)
- (2) 地域子育て支援事業 (自主事業)
 - ① 子育て支援 MOIMOI (週3回)
 - ② 貸し出し絵本 (週3回)
 - ③ 臨床心理士による育児相談 (月1回)
 - ④ 保育教諭による育児・教育相談 (随時)
- (3) ボランティア、就業体験受け入れ事業
 - ① 保育士養成機関実習生受け入れ

② 中学生職場体験受け入れ

6. 職員構成

職種 正規職員 パート職員 アルバイト職員 派遣職員

園長 1名

教頭 1名

保育教諭 18名 (育休中1名)

栄養士 1名

調理員 4名

看護師 1名

事務員 4名

学校医(内科) 1名

学校医(歯科) 1名

学校医(薬剤師) 1名

学校医(眼科) 1名

学校医(耳鼻科) 1名

英語講師 1名

7. クラス編成

クラス名	年齢	児童数	保育教諭数	備考
びよ	0歳児	9名	3名	
ひよこ	1歳児	12名	2名	
うさぎ	2歳児	14名	2名	
りす	3歳児	18名	1名	
小さいきりん	4歳児	18名	1名	
大きいきりん	5歳児	18名	1名	
		フリー	3名	
		計 89名	13名	

8. 健康管理

(1) 内科検診

乳児(年4回) 幼児(年2回)

(2) 歯科検診

年2回

(3) 眼科健診

年1回

(4) 耳鼻科検診

年1回

(5) 薬剤師活動

月1回

(6) 身体測定

毎月

9. 衛生管理

(1) 感染症対応マニュアルに基づいた対応とマニュアルの見直しを定期的に行う。

10. 安全管理

(1) 不審者・防犯指導

年1回

(2) 避難訓練

非常災害対策訓練年間計画表に沿って実施（毎月）

消防署立ち合い調査(年1回)

11. 食に対する取組

(1) アレルギー対応の実施

(2) 年間食育計画に基づいた取組の実施

(3) 授乳・離乳の支援ガイドを基本とした離乳食

(4) 給食衛生管理マニュアルに基づいた対応

12. 苦情処理

(1) 苦情への適切な対応により、保育サービスに対する利用者の満足感を高めると共に、利用者が保育サービスを適切に利用する事が出来るように支援する事と、苦情を密室化せず社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることにより、円滑・円満な解決の促進や当園の信頼と適正性を図る為に苦情解決規程を設けて、お知らせ、ポスター、ホームページなどで周知する

15. 情報公開

(1) ホームページの開設

実施されているサービス内容や経営内容などの情報について、透明性の確保に努める。

16. 行事予定

4月 入園式・始業式

5月 子どもの日の集い・遠足

6月 歯科検診・個人懇談・尿検査・田植え

7月 プール開き・七夕まつり・夏まつり・内科検診

8月

9月 内科検診

10月 運動会・いもほり園足

11月 眼科健診・耳鼻科検診・お泊り保育

12月 歯科検診・もちつき大会・クリスマス会・終業式

1月 卒園児同窓会・遠足・内科検診

2月 節分・生活発表会

3月 入園説明会・内科検診・お別れ会・卒園式・終業式

毎月（頭髪検査・絵画教室・英語教室・発育測定・お誕生日会・避難訓練）

17. 研修計画

保育士・保育教諭等には、自分自身の資質の向上を意識し、業務に必要な基本知識や技能を高め、専門性を高める意識を持ち、研修で学んだことを日々の保育活動に生かしていく必要がある。保育士等に求められる人間性と専門性について、俯瞰的に計画する。

18. 職員会議

(1) 定例会議（毎月）

19. 福利厚生

(1) 職員健康診断（年 1 回）

(2) 細菌検査（毎月）

(3) 民間共済会（該当職員のみ）・福祉医療機構退職共済加入

Ⅲ ほづみバブー保育園

1. [保育理念]

自分らしさを発揮しながら 豊かな創造性や感性をもち

やろうとする力や向かう気持ち あきらめずに達成する力が強く 人とつながる喜びを知る人になる

[保育方針]

そのままの姿を受けとめよう

たくさん抱きしめよう

たくさん失敗ができる場所にしよう

「ホンモノ性（学びの対象・人としてのあり方）」を大切にしよう

すべての人の違いは豊かさであり 同じ価値の存在として認めよう

一人ひとりの個性を尊重しよう

[まわりの大人が大切にしたいこと]

子どもを中心として それを取り巻く大人たちが 支えや学びの共同体になろう

子どもを生まれた時から 幅広い分野で発達する 生きた人間として見よう

子どもたちに人生の魅力を語ろう

子どもの成長や発達を喜び合い 協力し合いながら成長しよう

大人も子どもも 豊かな安全基地をもち 愛着を安定させよう

3. 令和7年度の重点項目

(1) 保育指針に基づいた保育の展開

(2) 苦情解決処理への積極的な取り組み

(3) 地域交流事業の推進

4. 特別保育事業

(1) 延長保育事業

5. 地域交流事業

(1) 世代間交流事業

- ① 小学生との交流 (年1回)
- (2) 地域子育て支援事業 (自主事業)
 - ① 園庭開放(週1回)
 - ② 貸し出し絵本(週1回)
 - ③ 育児相談(随時)
- (3) ボランティア、就業体験受け入れ事業
 - ① 保育士養成機関実習生受け入れ
 - ② 中学生職場体験受け入れ

6. 職員構成

職種 正規職員 パート職員 アルバイト職員 派遣職員

施設長 1名
 主任保育士 1名
 保育士 14名 (育休中3名)
 調理員 3名
 看護師 1名
 事務員 1名
 嘱託内科医 1名
 嘱託歯科医 1名
 嘱託眼科医 1名
 嘱託耳鼻科医 1名
 英語講師 1名

7. クラス編成

クラス名	年齢	児童数	保育士数	備考
ぴよぴよ	0歳児	4名	1名	
わんわん	1歳児	10名	2名	
にゃんにゃん	2歳児	13名	2名	
ぴよんぴよん	3歳児	12名	1名	
		フリー	8名	
		計 37名	13名	

8. 健康管理

- (1) 内科検診
 - 乳児 (年4回) 幼児 (年2回)
- (2) 歯科検診
 - 年2回
- (3) 眼科健診
 - 年1回
- (4) 耳鼻科検診
 - 年1回

(5) 身体測定

毎月

9. 衛生管理

(1) 感染症対応マニュアルに基づいた対応とマニュアルの見直しを定期的に行う。

10. 安全管理

(1) 避難訓練

非常災害対策訓練年間計画表に沿って実施（毎月）

消防署立ち合い調査(年1回)

11. 食に対する取組

(1) アレルギー対応の実施

(2) 年間食育計画に基づいた取組の実施

(3) 授乳・離乳の支援ガイドを基本とした離乳食

(4) 給食衛生管理マニュアルに基づいた対応

12. 苦情処理

(1) 苦情への適切な対応により、保育サービスに対する利用者の満足感を高めると共に、利用者が保育サービスを適切に利用する事が出来るように支援する事と、苦情を密室化せず社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることにより、円滑・円満な解決の促進や当園の信頼と適正性を図る為に苦情解決規程を設けて、お知らせ、ポスター、ホームページなどで周知する

15. 情報公開

(1) ホームページの開設

実施されているサービス内容や経営内容などの情報について、透明性の確保に努める。

16. 行事予定

4月 入園式

5月

6月 歯科検診・個人懇談・尿検査・手洗い指導

7月 プール開き・七夕まつり・内科検診

8月

9月 内科検診、おまつり

10月 運動会

11月 眼科健診・耳鼻科検診・遠足

12月 歯科検診・もちつき大会・クリスマス会

1月 内科検診

2月 節分・ふれあい発表会

3月 入園説明会・内科検診・修了式・お別れ会

毎月（頭髪検査・英語教室・発育測定・お誕生日会・避難訓練）

17. 研修計画

保育士等には、自分自身の資質の向上を意識し、業務に必要な基本知識や技能を高め、専門性を高める意識を持ち、研修で学んだことを日々の保育活動に生かしていく必要がある。保育士等に求め

られる人間性と専門性について、俯瞰的に計画する。

18. 職員会議

(1) 定例会議（毎月）

19. 福利厚生

(1) 職員健康診断（年 1 回）

(2) 細菌検査（毎月）

(3) 民間共済会（該当職員のみ）・福祉医療機構退職共済加入

Ⅲ ほづみ絵本の森保育園

1. [保育理念]

自分らしさを発揮しながら 豊かな創造性や感性をもち

やろうとする力や向かう気持ち あきらめずに達成する力が強く 人とつながる喜びを知る人になる

[保育方針]

そのままの姿を受けとめよう

たくさん抱きしめよう

たくさん失敗ができる場所にしよう

「ホンモノ性（学びの対象・人としてのあり方）」を大切にしよう

すべての人の違いは豊かさであり 同じ価値の存在として認めよう

一人ひとりの個性を尊重しよう

[まわりの大人が大切にしたいこと]

子どもを中心として それを取り巻く大人たちが 支えや学びの共同体になろう

子どもを生まれた時から 幅広い分野で発達する 生きた人間として見よう

子どもたちに人生の魅力を語ろう

子どもの成長や発達を喜び合い 協力し合いながら成長しよう

大人も子どもも 豊かな安全基地をもち 愛着を安定させよう

3. 令和7年度の重点項目

(1) 苦情解決処理への積極的な取組み

(2) 地域交流事業の推進

4. 特別保育事業

(1) 延長保育事業

5. 地域交流事業

(1) 地域子育て支援事業（自主事業）

① 子育て支援 ほづみ絵本カフェ（週 3 回）

② 貸し出し絵本（月 1 回）

③ 育児相談（随時）

(2) ボランティア、就業体験受け入れ事業

- ① 保育士養成機関実習生受け入れ
- ② 中学生職場体験受け入れ

6. 職員構成

職種 正規職員 パート職員 アルバイト職員 派遣職員

管理者（施設長） 1名

主任保育士 1名

保育士 7名

調理員 1名

看護師 1名

事務員 1名

嘱託内科医 1名

嘱託歯科医 1名

7. クラス編成

クラス名	年齢	児童数	保育士数	備考
	1 歳児	9 名	2 名	
	2 歳児	10 名	2 名	
		フリー	3名	
		計 19 名	7 名	

8. 健康管理

(1) 内科検診

乳児（年4回）

(2) 歯科検診

年2回

(3) 身体測定

毎月

9. 衛生管理

(1) 感染症対応マニュアルに基づいた対応とマニュアルの見直しを定期的に行う。

10. 安全管理

(1) 避難訓練

非常災害対策訓練年間計画表に沿って実施（毎月）

消防署立ち合い調査（年1回）

11. 食に対する取組

(1) アレルギー対応の実施

(2) 年間食育計画に基づいた取組の実施

(3) 授乳・離乳の支援ガイドを基本とした離乳食

(4) 給食衛生管理マニュアルに基づいた対応

12. 苦情処理

- (1) 苦情への適切な対応により、保育サービスに対する利用者の満足感を高めると共に、利用者が保育サービスを適切に利用する事が出来るように支援する事と、苦情を密室化せず社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることにより、円滑・円満な解決の促進や当園の信頼と適正性を図る為に苦情解決規程を設けて、お知らせ、ポスター、ホームページなどで周知する

15. 情報公開

(1) ホームページの開設

実施されているサービス内容や経営内容などの情報について、透明性の確保に努める。

16. 行事予定（変更の可能性あり）

- 4月 入園式・始業式
- 5月 子どもの日の集い
- 6月 歯科検診・個人懇談・尿検査
- 7月 絵本フェスタ・内科検診
- 8月
- 9月 内科検診
- 10月 遠足
- 11月 眼科健診
- 12月 歯科検診・クリスマス会
- 1月 内科検診
- 2月 節分
- 3月 入園説明会・内科検診・修了式
- 毎月（頭髪検査・発育測定・お誕生日会・避難訓練）

17. 研修計画

保育士等には、自分自身の資質の向上を意識し、業務に必要な基本知識や技能を高め、専門性を高める意識を持ち、研修で学んだことを日々の保育活動に生かしていく必要がある。保育士等に求められる人間性と専門性について、俯瞰的に計画する。

18. 職員会議

- (1) 定例会議（毎月）

19. 福利厚生

- (1) 職員健康診断（年 1 回）
- (2) 細菌検査（毎月）
- (3) 民間共済会（該当職員のみ）・福祉医療機構退職共済加入

IV マーブル保育園

1. [保育理念]

自分らしさを発揮しながら 豊かな創造性や感性をもち

やろうとする力や向かう気持ち あきらめずに達成する力が強く 人とつながる喜びを知る人になる

[保育方針]

そのままの姿を受けとめよう

たくさん抱きしめよう

たくさん失敗ができる場所にしよう

「ホンモノ性（学びの対象・人としてのあり方）」を大切にしよう

すべての人の違いは豊かさであり 同じ価値の存在として認めよう

一人ひとりの個性を尊重しよう

[まわりの大人が大切にしたいこと]

子どもを中心として それを取り巻く大人たちが 支えや学びの共同体になろう

子どもを生まれた時から 幅広い分野で発達する 生きた人間として見よう

子どもたちに人生の魅力を語ろう

子どもの成長や発達を喜び合い 協力し合いながら成長しよう

大人も子どもも 豊かな安全基地をもち 愛着を安定させよう

3. 令和7年度の重点項目

(1) 苦情解決処理への積極的な取り組み

(2) 地域交流事業の推進

4. 特別保育事業

(1) 延長保育事業

5. 地域交流事業

(1) 世代間交流事業

① 小学生との交流（年1回）

(2) 地域子育て支援事業（自主事業）

① 園庭開放（週1回）

③ 育児相談（随時）

(3) ボランティア、就業体験受け入れ事業

① 保育士養成機関実習生受け入れ

6. 職員構成

職種 正規職員 パート職員 アルバイト職員 派遣職員

施設長 1名

主任保育士 1名

保育士 9名

栄養士 1名

調理員 3名

看護師 1名

事務員 1名

嘱託内科医 1名
嘱託歯科医 1名
嘱託眼科医 1名
嘱託耳鼻科医 1名
英語講師 1名

7. クラス編成

クラス名	年齢	児童数	保育士数	備考
やまぶき	1歳児	10名	2名	
あかね	2歳児	11名	2名	
ぼたん	3歳児	16名	1名	
ひすい	4歳児	16名	1名	
あい	5歳児	16名	1名	
		フリー	2名	
		計69名	9名	

8. 健康管理

- (1) 内科検診
幼児（年2回）
- (2) 歯科検診
年2回
- (3) 眼科健診
年1回
- (4) 耳鼻科検診
年1回
- (5) 身体測定
毎月

9. 衛生管理

- (1) 感染症対応マニュアルに基づいた対応とマニュアルの見直しを定期的に行う。

10. 安全管理

- (1) 避難訓練
非常災害対策訓練年間計画表に沿って実施（毎月）
消防署立ち合い調査（年1回）

11. 食に対する取組

- (1) アレルギー対応の実施
- (2) 年間食育計画に基づいた取組の実施
- (3) 授乳・離乳の支援ガイドを基本とした離乳食
- (4) 給食衛生管理マニュアルに基づいた対応

12. 苦情処理

- (1) 苦情への適切な対応により、保育サービスに対する利用者の満足感を高めると共に、利用者が保育サービスを適切に利用する事が出来るように支援する事と、苦情を密室化せず社

会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることにより、円滑・円満な解決の促進や当園の信頼と適正性を図る為に苦情解決規程を設けて、お知らせ、ポスター、ホームページなどで周知する

15. 情報公開

(1) ホームページの開設

実施されているサービス内容や経営内容などの情報について、透明性の確保に努める。

16. 行事予定

4月 入園式

5月

6月 歯科検診・個人懇談・尿検査

7月 プール開き・七夕まつり・内科検診

8月

9月 内科検診

10月

11月 眼科健診・耳鼻科検診・遠足

12月 歯科検診・もちつき大会・クリスマス会

1月 内科検診

2月 節分

3月 入園説明会・内科検診・修了式

毎月（頭髪検査・英語教室・発育測定・お誕生日会・避難訓練）

17. 研修計画

保育士等には、自分自身の資質の向上を意識し、業務に必要な基本知識や技能を高め、専門性を高める意識を持ち、研修で学んだことを日々の保育活動に生かしていく必要がある。保育士等に求められる人間性と専門性について、俯瞰的に計画する。

18. 職員会議

(1) 定例会議（毎月）

19. 福利厚生

(1) 職員健康診断（年 1 回）

(2) 細菌検査（毎月）

(3) 民間共済会（該当職員のみ）・福祉医療機構退職共済加入